

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岩瀬不動産 貸店舗新築工事 A棟	階数	地上2階
建設地	小田原市鴨宮字宝町639番1,638番1,639番3,642番2,640番の一部,642番の一部,637-1の一部	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	510 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2015年11月30日
敷地面積	4,805 m ²	作成者	三熱設計
建築面積	2,200 m ²	確認日	2015年12月7日
延床面積	3,506 m ²	確認者	(株)シーク設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: 30%★★★★★ 60%★★★★ 80%★★★ 100%★★ 100%超:★

①参照値 100%
②建築物の取組み 73%
③上記+②以外の 73%
④上記+ 73%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	地球環境負荷の低減を目指し、同時に周辺環境にも配慮した。	
その他	0	
Q1 室内環境	外壁熱損失の低減を図るため、外壁断熱性能を考慮した。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	階高、天井高にゆとりを持たせて快適性を確保し、バリアフリーとした。	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	地域の街なみ、景観への配慮を考慮した。	LR1 エネルギー
LR1 エネルギー	エネルギー損失の削減を考慮し、高効率機器を採用した。	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	地球環境、人体への健康配慮した建築材料の選択を行った。	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	周辺の住宅地への配慮から、作業室の排気は敷地側に配置した。 ゴミ庫は冷蔵庫として臭気対策とした。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される